

社会科シラバス

1 中学校社会科の目標（平成 29 年告示中学校学習指導要領より）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 社会科の観点の目標と評価の方法

観 点	評 価 の 観 点	評 価 方 法
○知識・技能	基本的な事項・事柄が知識として定着し、理解することとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期テストや 単元テスト等
○思考力・判断力・ 表現力等	資料に基づいて多面的・多角的に考察し、判断するなど、社会的な見方、考え方の基礎を身に付けることができる。	評価資料の内容、 定期テスト
○主体的に学習に 取り組む態度	社会的事象に対して関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	自己評価や授業 態度、提出物

A = 3 点 B = 2 点 C = 1 点 3つの観点別 評価の合計で 評定をつける	合計点	組み合わせの例	評定
	9 点	AAA	5
	8 点	AAB	4
	5～7 点	AAC、ABB、ABC、ACC、BBB、BBC	3
	4 点	BCC	2
	3 点	CCC	1

〈注意〉3年生の後期期末テストはありません。
授業の取組、提出物、単元テスト、レポート等、
後期期末テストに代わる評価を行います。

3 社会の家庭学習のポイント

授業の流れを思い出しながら別のノートにまとめ直し、学習内容を整理する。その上で問題集に取り組み、できなかったところはもう一度教科書やノートに戻って復習をする。日頃から「整理」をこまめにしておき、テスト前に問題を解いて定着度を確認する。地理は地図、歴史は年表、公民は憲法の条文やしぐみ図が重要。地図や年表、しぐみ図などはよく目につくところに貼っておくと良い。

4 使用教材

1 年 教科書・歴史資料・地理資料・地図帳・地理／歴史ワーク

2 年 教科書・歴史資料・地理資料・地図帳・地理／歴史ワーク・地形図（地形図は後日配付）

3 年 教科書・歴史資料・公民資料・歴史／公民ワーク

※2年生は、地理・歴史ともに資料集は1年生のものを引き続き使用します。

《3年生の学習内容：140時間》

※ ●：歴史 ◎：公民

学期	学習項目	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> ●明治維新 ・明治維新～立憲国家の成立 ●日清・日露戦争と近代産業 ・日本の近代化 ●第一次世界大戦とアジア・日本 ●世界恐慌と日本の中国侵略 ●第二次世界大戦とアジア ●日本の民主化と国際社会への復帰 ●国際社会と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の経緯のあらましに関心を高め、意欲的に追及する。 ・急速に近代化を進めた日本の国際的な地位の向上と、大陸との関係のあらましを理解する。 ・第一次世界大戦の原因や概要について理解し、帝国主義の背景や現在まで続く民族問題に関心を持つ。 ・世界恐慌の原因を理解し、各国の対応の違いを考え、ファシズムの台頭について自分の意見を持つ。 ・第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考える。 ・戦後の日本の歩みを、民主化政策や憲法制定を中心に理解し、世界の中の日本の立場を考える。 ・高度経済成長から現代までの日本の歩みを理解し、21世紀の日本と世界について考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎わたしたちの生活と現代社会 ・現代社会とわたしたちの生活 ・わたしたちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方 ◎人間の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統と文化に関心をもち、新しい文化を創造する態度を育てる。 ・人間は社会的存在であることに着目し、物事の決定の仕方や決まりの意義について具体的に考える。 ・人権という考え方の意味と人権尊重への視点、現代社会と人権とのかかわりについて意欲的に追及する。 ・日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容を、具体的な事例を通して理解する。 ・社会の変化とともに人権の考え方が変化することに気付き、新しい課題についても理解させる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ◎現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治のしくみ ・地方の政治と自治 ◎わたしたちのくらしと経済 ・くらしと経済 ・生産と労働 ・価格の働きと金融 ・国民生活と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気付き、政治に関心をもち、積極的に関わっていこうとする態度を育てる。 ・身近な話題や事例を手がかりとしながら、国会、内閣、裁判所の仕組みや役割に関心を持つ。 ・地域社会への関心を高め、住民の一人として、地方自治の発展に寄与しようとする意識を育てる。 ・経済に対する関心を高め“かしこい”消費生活のあり方や消費者としての自立について考える。 ・企業の生産活動が、家計によって提供される労働力などの資源を投入して行われていることに気付き、企業の生産活動の仕組みと働きに関心を持つ。 ・市場経済の基本的な考え方に気付き、市場における価格の決め方や資源の配分について理解する。 ・市場の働きにゆだねることが難しい財やサービスを提供するという政府の経済的役割について理解する。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎地球社会とわたしたち ・国際社会と世界平和 ・国際問題とわたしたち ◎よりよい社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、主権を尊重し国民が協力し合うことが重要であることを理解する。 ・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題にはどのようなものがあるか考える。